

福知山環境会議幹事会議事録

第5回（令和元年8月29日（木））

出席者：田倉、土田真、山本、田村、芦田、森田、足立、土田崇
井上（和）、井上（義）、小牧、桐村、岩木、梅田

●報告事項

（1）各プロジェクトの活動報告について

・由良川・里山プロジェクト

8月17日（土）に竹林整備を行った。参加人数は13名で前回よりも少なかった。しかし、マスコミ等への広報のおかげもあり、家族連れや高校生などの参加もあった。明智藪は活動開始のときよりも竹の本数が減り、見栄えもよくなってきた。伐採した竹は竹チップにして、防草用として明智藪敷地内の地面に敷き詰めている。

9月の活動予定としては、9月8日に竹林整備を行い、9月23日（月）に行われる「福知山イル未来と2019」で展示するモニュメントの作成に取り掛かる予定である。（竹の輪を使った桔梗型のライトアップモニュメント）

・ゴーヤ先生による広報活動プロジェクト

みどりのカーテンに関する記事や福知山環境会議に関する広告を両丹日日新聞に掲載をしていただいた。収穫時期やゴーヤをうまく育てるための方法についてシリーズもので広報した。

福知山環境会議のホームページを更新し、各プロジェクトの最新の活動内容を掲載した。随時、イベントなどの広報記事があれば送付いただきたい。

・ごみ減量化と生ごみ堆肥化プロジェクト

8月6日（火）に環境パークで生ごみ堆肥づくり講習会を開催し、3名が受講された。参加者の方は、生ごみの減量化について詳しく学べ、堆肥箱を注文されるなど満足されていた。

●協議事項

（1）総会の反省と今後について

- ・議案について、事前に幹事会で協議をしていない。
- ・開催案内において、議案を同封していなかった。返信方法を明記していなかった。
- ・役員を選任について、会則の規定に従って行えてなかった。

総会や幹事会で指摘のあった上記のことについて、今後は会則に則り、進めていくようにすることを確認。議案書の内容についても、各プロジェクト

リーダーなどと幹事会等で協議をして決めていく。予算についても事務局だけで作成せず、協議を行ってから配分を決定していくこととする。

また、幹事会の議長については、代表が勤める旨が会則に書かれているが、これについては変更せず、議長は代表とし、内容の説明については今後も事務局から報告することで決定。

(2) 今年度の予算執行について

令和元年8月27日現在での予算執行状況を報告。明智藪の整備があり、予算額を大きく上回ることを説明。地域づくり・街づくり支援事業補助金の対象プロジェクトであるが、事業の完了後に入金される。各プロジェクトと事務局で予算の執行について協議し、効果的にプロジェクトをすすめていけるようお願いしたい。

エコパートナーシップ会計と会費会計の2種類があるが、エコパートナーシップ会計で足りなくなった分については、会費会計から充当して、今年度はプロジェクトをすすめていく。

●今後の行事について

9/8 (日) 明智藪整備・モニュメント作成

(9:00~12:00、13:00~15:00) 明智藪

9/10 (火) 生ごみ堆肥化教室 (13:00~15:00) 環境パーク

9/23 (月) 明智藪ライトアップ (18:00~22:00) 明智藪

●その他 (意見など)

・幹事会について、もっと意見を述べる事が出来る雰囲気作りをしてもらいたい。なかなか発言できない雰囲気でも会議を行っていても、言いたいことも言えない状況である。会議の進行等はそこを意識して行ってもらいたい。

・みどりのカーテンの実施率調査について、結果をマップで作成してみてもどうか。〇〇%という数字だけでなく、実施率が目で見て分かりやすいようなものを作ると良いかもしれない。

●次回幹事会開催予定日

令和元年9月30日 (月) 環境パーク 2階会議室

